

カルシウム剤

〈貯法〉
容器：気密容器

日本薬局方 乳酸カルシウム水和物

乳酸カルシウム「コザカイ・M」

Calcium Lactate Hydrate

**【禁忌】（次の患者には投与しないこと）

1. 高カルシウム血症の患者〔症状を悪化させるおそれがある。〕
2. 腎結石のある患者〔症状を悪化させるおそれがある。〕
3. 重篤な腎不全のある患者〔腎不全を更に悪化させるおそれがある。〕

【組成・性状】

本品 1g 中に、日局 乳酸カルシウム水和物 1g を含有する。本品は白色の粉末又は粒で、においはなく、味はわずかに酸味がある。

【効能・効果】

低カルシウム血症に起因する下記症候の改善
テタニー
下記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給
妊婦・産婦の骨軟化症
発育期におけるカルシウム補給

【用法・用量】

乳酸カルシウム水和物として、通常成人 1 回 1g を 1 日 2～5 回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

** 1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1) 活性型ビタミン D 製剤を服用している患者〔高カルシウム血症があらわれやすい。〕
- (2) 強心配糖体の投与を受けている患者〔強心配糖体の作用を増強するおそれがある。〕
- (3) 高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者〔症状を悪化させるおそれがある。〕

2. 重要な基本的注意

長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。また、高カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止すること。

** 3. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ジギタリス製剤 (ジゴキシン、ジギトキシン等)	ジギタリス中毒（不整脈、ショック）があらわれることがあるので、定期的にジギタリス中毒の有無、心電図検査を行い、必要に応じてジギタリス製剤の血中濃度を測定し、異常が認められた場合には、これらの薬剤の減量若しくは投与を中止すること。	これらの薬剤の作用を増強する。
テトラサイクリン系抗生物質 (テトラサイクリン、ミノサイクリン等) ニューキノロン系抗菌剤 (シプロフロキサシン、トスフロキサシン等)	これらの薬剤の吸収が低下し、効果が減弱するおそれがあるため、同時服用を避け、併用する場合には、これらの薬剤服用後 2 時間以上あけるなど注意すること。	カルシウムイオンと難溶性のキレートを形成し、これらの薬剤の吸収が阻害される。

** 4. 副作用

本剤は、使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
消化器	便秘
長期投与 ^{注1}	高カルシウム血症、結石症

注) このような異常があらわれた場合には、投与を中止すること。

5. 高齢者への投与

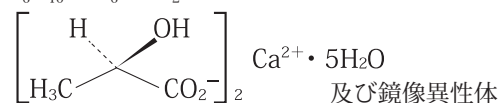
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

**【薬効薬理】

血清カルシウム値が低下したとき、カルシウム値を上昇させる。血漿中カルシウムイオンが欠乏すると神経系及び筋肉系の興奮性が高まって疲労しやすくなり、横紋筋は痙攣を起こす。本薬の投与により、鎮静、痙攣軽減の作用を示す。カルシウムは無機栄養素としても重要で、歯や骨の主成分である。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：乳酸カルシウム水和物 (Calcium Lactate Hydrate)
化学名：Monocalcium bis[(2R)-2-hydroxypropanoate] pentahydrate
分子式：C₆H₁₀CaO₆・5H₂O



分子量：308.29

性状：白色の粉末又は粒で、においはなく、味はわずかに酸味がある。1g は水 20mL に徐々に溶け、エタノール (95) に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。常温でやや風解し、120°C で無水物となる。

【包装】

分包品（細粒）

1g×1,050 包入 2g×1,050 包入

1g×3,150 包入 2g×3,150 包入

500g（細粒・粉末）

**【主要文献】

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、廣川書店 (2011)
- 2) JPDI 日本薬局方 医薬品情報 2011, じほう (2011)

**【文献請求先】

小堺製薬株式会社 品質保証室
〒130-0026 東京都墨田区両国 4-36-9
TEL：03-3631-1495
FAX：03-3631-1457

製造販売元



小堺製薬株式会社

*東京都墨田区両国 4-36-9